

女子ソフト部を激励 前橋市でJAグループ群馬



県産牛肉などを食べて群馬の農業を応援する選手ら（15日、前橋市で）

JAグループ群馬は15日、ルネサスエレクトロニクス高崎女子ソフトボール部の激励会を前橋市で開いた。監督、選手、役職員ら約40人が参加した。

同グループは「ぐんまの農業応援団」を結成し、県農業を育てる運動を展開している。同部の上野由岐子選手が応援団として県産農畜産物のPRに協力している。

今回の企画は、東京電力福島第1原子力発電所の事故の影響で、風評被害など県産農畜産物が甚大な被害を受けていることを踏まえたもの。肉用牛の全頭検査や野菜、米などの検査で、安全・安心な県産農畜産物を提供していることをアピールするため、同部の監督・選手に県産牛肉などを食べてもらった。㈱エコープ関東が運営する「焼肉めぐり」を会場にした。

JA群馬中央会の長岡武会長は「本県農業への理解を深めてもらう機会としてほしい」とあいさつ。宇津木麗華監督は「群馬のお米を食べて、これまで頑張ることができた。スーパーでは意識して群馬県産を買っている」と感謝の言葉を述べた。

上州牛の焼肉を食べた選手らは「本当にお肉が柔らかくておいしい。脂もあっさりしていて食べやすい」と話した。

参加団体からは、県産米「ゴロピカリ」や県産野菜、上州牛・上州麦豚、牛乳・チーズやハム、こんにやくなども贈られた。